

研究課題番号	2G-2201
研究課題名	適応の効果と限界を考慮した地域別気候変動適応策立案支援システムの開発
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	国立研究開発法人国立環境研究所
研究代表者名	肱岡 靖明

1. 委員の指摘及び提言概要

気候変動下における地域別の適応策の提案について、優先順位と意思決定の分野にまで踏み込んだ挑戦的な研究が実施されている。実際にその方向に沿ったデータベースとツールの開発が進んでおり、研究の進行は順調と見られる。成果発表として、論文による知見、国民対話・メディア公表とも活発に進んでいる。サブテーマ1～3の個別の重要な研究課題に関して意義深い重要な成果を挙げてきている。今後はサブテーマ2と3の成果を1にうまく繋げ、最終的には全国各地で活用できる気候変動適応策立案支援システムの開発と稼働の実現を期待する。課題全体として適応の効果と限界に関する成果の創出を期待する。また、気候変動の影響が今後ますます増大すると予想される状況で農業自給率を上げる方策について、集計されるデータやシステムを使って政策提言をされることを期待する。なお、日本の農業の元々の問題と気候変動の問題とを峻別して、政策側が使いやすい提言を期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S